

MI\_2156 ガス弁（ホットエアーおよび蒸気） - 取り外しと取り付け



iCombiガス



15分



標準



2023/10/23

テーマ

ホットエアーおよびスチームのガス弁の取り外しと取り付けについて記載しています。

対象となる製品/アクセサリー

iCombi Pro / iCombi Classic ガス式：

- 6-1/1
- 6-2/1
- 10-1/1
- 10-2/1
- 20-1/1
- 20-2/1

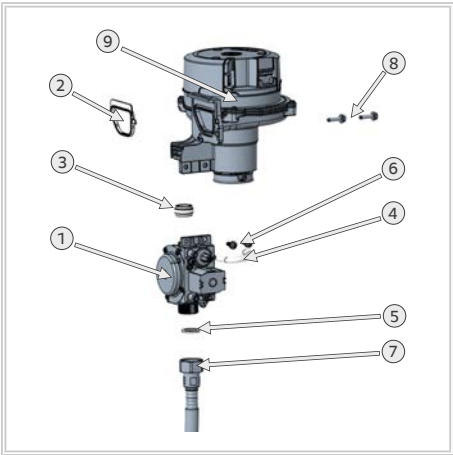
必要な工具

- 標準
- トルクスパナ フォークマウント サイズ30、25Nm
- スパナ サイズ30

必要となるコンポーネント

iCombi (ガス)	6-1/1	6-2/1	10-1/1	10-2/1	20-1/1	20-2/1
ガス弁 ス チーム	87.01.838 S	87.01.838 S	87.01.838 S	87.01.839 S	87.01.839 S	87.01.839 S
ガス弁キ ット ホッ トエアー 下	87.01.838 S	87.01.839 S	87.01.838 S	87.01.839 S	87.01.838 S	87.01.839 S
ガス弁キ ット ホッ トエアー 上	無し	無し	無し	無し	87.01.838 S	87.01.839 S

No.:	ガス弁一式061-101/201 (品番：87.01.838S)：	ガス弁一式062G/102-202G (品番：87.01.839S)：
1	ガス弁E01 LK1 061-101G/201G- (品番：70.01.675)	ガス弁E01 LK2 062G/102-202G- (品番：70.01.676)
2	ガス排気ガスケット061-202 - (品番：70.01.148)	
3	ガス弁ガスケットE01 061-202G - (品番：70.01.193)	
4	補償導管061-202G - (品番：70.01.745)	
5	ガスのリングシャフトホースのガスケット061 -202 - (品番：70.01.622)	
6	ガス弁E01用ネジ M5x12 T25 - (品番：10.01.902)	



一般情報

RATIONAL機器に取り付けられたガス部品には、部品製造者の文書が適用されます：

注記

使用前に、部品製造者の文書およびRATIONALの情報を必ずお読みください。

この資料はQR コードまたはリンクからアクセスできます。



図 8: QR-Code\_jp

[https://portal.rational-online.com/fs4p/media/service/3\\_dokumentationen/icombi\\_pro\\_\\_\\_icombi\\_classik/beipack/divers\\_1/Sicherheitshinweise-Gaskomponenten\\_jp.pdf](https://portal.rational-online.com/fs4p/media/service/3_dokumentationen/icombi_pro___icombi_classik/beipack/divers_1/Sicherheitshinweise-Gaskomponenten_jp.pdf)

## 注記

サービスレベル（「コンポーネント交換」タブ）にコンポーネントの取り付けを入力します。これはメンテナンス履歴の一部です。

作業手順は、ホットエアーおよびスチームのガス弁のユニットに対して有効です。

サービス部品としてガス弁を取り付ける場合、ユニットに既に使用されているネジは使用せず、付属品パックに同梱されているネジを使用してください。

### ターゲットグループ

- 本書は、トレーニングコースおよび安全に関する指導を受け、メーカーから認定と研修を受けた技術者を対象としています。
- 設置、検査、メンテナンスおよび修理作業は、訓練を受けた技術者だけが行うことができます。
- 点検、メンテナンス、修理は、メーカーから認定された技術者だけが行うことをお勧めします。
- お子様はユニットを使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。ユニットは、遊ぶために使用しないでください。これは、監視のもとであっても許可されません。
- 身体的、視聴覚的、あるいは精神的な障害のある人、または経験あるいは知識が不十分な人は、ユニットを使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。ただし、このグループの人々が、安全に関する責任者によって監督され、この装置の危険性を認識させられている場合は、この限りではありません。
- 事故の危険や物的損害を防止するため、メーカーは技術者が定期的にトレーニングや安全説明会に参加することを推奨しています。

## 安全上の指示

### 危険

#### 電源に接続する際の高圧

高電圧を扱う際には人命の危険が生じるおそれがあります。

- 電源との接続を切ってください。
- ユニットに通電されていないことを確認してください。

### ご注意

#### 本体の鋭いエッジ

作業の際に、ユニット内のボディーの鋭いエッジで切り傷を負うおそれがあります。

保護用手袋を用いてください。

### 注記

ガスコンポーネントの漏れ点検の際は、漏れ検知スプレーを使用しないでください。

漏れ検知スプレーは隣接するコンポーネントに損傷をきたすおそれがあります。

## 修正ログ

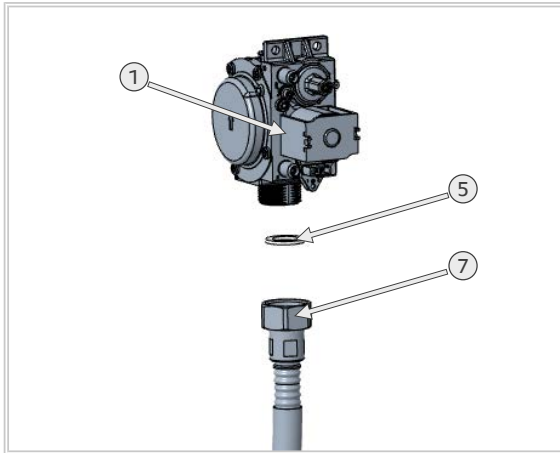
この説明書の前バージョンの変更事項:

- 納品範囲に含まれるコンポーネント - 品番の変更：補償導管一式 061-202G - (品番：70.01.745)
- 「作業ステップ - 床置き型ユニットのガスホースの取り付け」の章に、「ガスコンポーネントの漏れ点検の際は、漏れ検知スプレーを使用しないでください。漏れ検知スプレーは隣接するコンポーネントに損傷をきたすおそれがあります」という注記が追加されました。

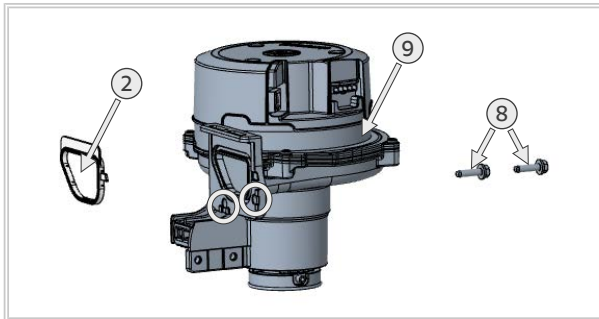
## 作業手順 - ホットエアーおよびスチームのガス弁の取り外し

- ✓ ユニットのスイッチが切られて、非通電状態になっている。
  - ✓ 電装部が開けられた状態です。
  - ✓ ガス送出が停止しています。
1. ガス弁（1）とガス排気（9）から全てのケーブルを取り外します。

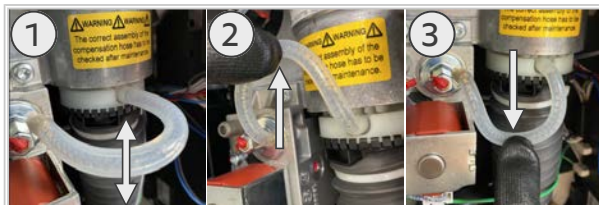
2. ガス弁 (1) から黄色のガスホース (7)、ガスのリングシャフトホースのガスケット (5) を取り外します。リングシャフトホースのガスケット (ガス) (5) を廃棄します。



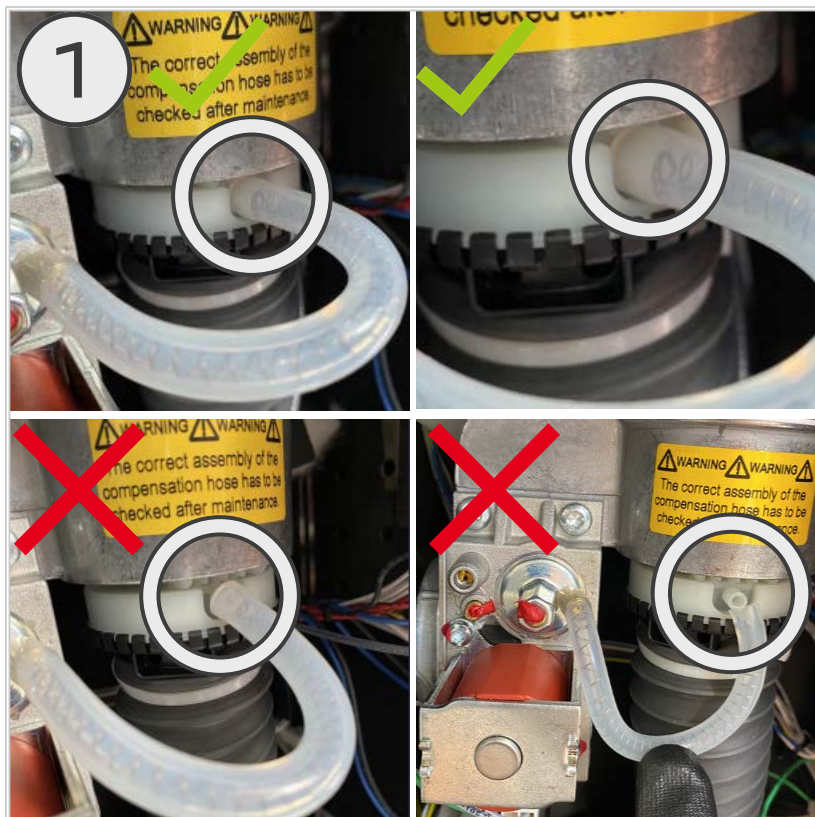
3. 注記：ガス弁のみを交換する場合、項目4に進みます。  
ネジ (8) を緩めます。  
ガス排気 (9) を取り外します。  
ガス排気のガスケット (2) を取り外して廃棄します。



4. ガス排気の補償導管 (図1) を上下に交互に90°曲げます (図2、図3参照)。この作業を合計5回繰り返します。

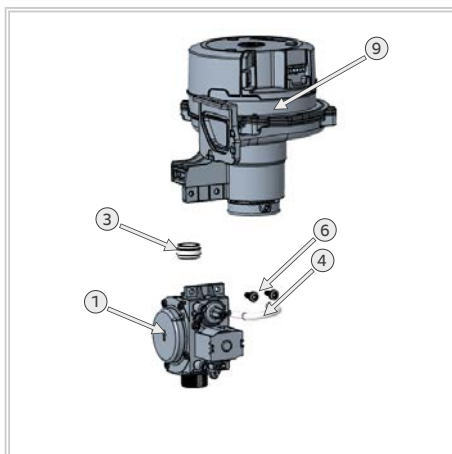


5. サポートでの補償導管の固定を確認します（図1）。補償導管が数ミリしか滑っていない場合、あるいは完全にサポートから外れている場合は、補償導管を交換する必要があります。  
注！補償導管を交換しなければならない場合、補償導管が両方のサポートに完全に押し込まれていることを確認します！



6. 試験5のテスト結果は良好：  
補償導管(4)をガス弁(1)からだけ外し、送風装置（9）に接続したままにします。  
ガス排気（9）にガス弁（1）を固定している2本のネジ（6）を緩めま

す。  
 ガス弁（1）を取り外して廃棄します。  
 ガス弁のガスケット（3）を取り外して廃棄します。



>> 取り外しは完了です。

#### 作業手順 - ホットエアおよびスチームのガス弁の取り付け

1. 取り付けは逆の順序で行います。取り付けには、新品の部品を使用してください。
2. ガスホースをガス弁（ホットエアとスチーム）に接続するには、オープンエンドスパナ（サイズ20）とトルクスパナ（サイズ30、25Nm）が必要です。

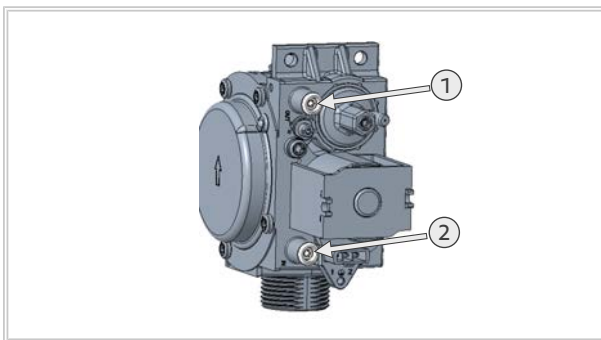
#### 注記

ガスホースにオープンエンドスパナを当てないでください。ナットには、オープンエンドスパナのみを使用してください。



## 注記

印の付いている設定ネジ (1) と (2) は、 $1.2\text{Nm}$  ( $\pm 0.1\text{Nm}$ ) のトルクでのみ締め付けることができます。  
トルクが大きすぎると、弁が破損します。



3. 取り付け後、ガス漏れチェックを行ってください。
  4. 取り付け後、漏れ試験と排ガス分析を行ってください。  
注記：ガスコンポーネントの漏れ点検の際は、漏れ検知スプレーを使用しないでください。漏れ検知スプレーは隣接するコンポーネントに損傷をきたすおそれがあります。
- >> 取り付けは完了です。









